



2022 年 6 月

- [今回のリリースでの新機能 \(1 ページ\)](#)
- [このリリースでの変更点 \(2 ページ\)](#)
- [不具合 \(3 ページ\)](#)

今回のリリースでの新機能

Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードに次の機能が導入されました。

IoT Explorer アプリケーション

Internet of Things (IoT) Explorer アプリケーションは、Operational Insights および Cisco Asset Locator アプリケーションの第 3 世代の拡張バージョンです。IoT Explorer アプリケーションは、Cisco Spaces でデバイス主導の IoT ユースケースを検討しているユーザーに迅速な価値をもたらし、ACT ライセンスレベルで IoT サービスに価値を追加するように設計されています。

このアプリケーションは、以下に示す 3 つのユースケースを実現します。

- アセットトラッキング
- スペースの占有/プレゼンス検出
- 温度のモニタリング

これらの各ユースケース内で、ルール/アラートの作成、データログの表示、デバイスまたはセンサーのリアルタイムのロケーションとステータスの表示を行うことができます。IoT Explorer アプリケーションの UI は、ユースケースを簡単に設定できるように設計されています。

このリリースでの変更点

Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードでは、次の機能強化が加えられました。

Cisco Spaces : コネクタ 3.0

Cisco Spaces : コネクタ 3.0（このドキュメントの以降のすべての参照ではコネクタと呼ばれます）は、Cisco ワイヤレスコントローラやデータ用のスイッチなどのさまざまなネットワークデバイスに接続する複数のサービスを効率的に管理する機能を備えた完全に再設計されたバージョンのコネクタです。コネクタプラットフォームを使用すると、クラウドに新しいサービスを簡単に追加/削除できます。クラウドからのデバッグ、ログのアップロード、および再起動機能により、高度なトラブルシューティングが可能になります。コネクタは、CPU、メモリ、接続、およびアップ/ダウンステータスを含む各サービスの詳細なメトリックも提供します。

コネクタは Cisco Spaces の次世代コネクタであり、拡張されたユーザーエクスペリエンス、複数のサービスをサポートするアーキテクチャ、シンプルさ、モジュール性、シームレスなアップグレード、およびハイアベイラビリティを提供します。コネクタは、アクティブ/アクティブ高可用性セットアップをサポートします。コネクタ 2.x の以前のリリースとは異なり、高可用性ペアを具体的に設定および監視できます。すべてのサービスとデバイス構成はコネクタレベルで管理されるため、高可用性と簡単にペアリングできます。

コネクタとデバイスのステータスも、各インスタンスからコネクタレベルで集計されるため、簡単に監視できます。コネクタは、高可用性ペアの各インスタンスに完全な可視性を提供します。各インスタンスでのサービスの実行状況、アップグレードステータスなどを表示できます。サービスの再起動など、特定のインスタンスでアクションを実行することもできます。

Right Now

Right Now アプリでは、次の機能強化が行われています。

Right Now アプリは、[Location Hierarchy] に変更があった場合のカウンタの問題に対処するように強化されています。

この機能強化の前に、新しいロケーションの追加、既存のロケーションの削除、または [TimeZone] などの重要なパラメータの更新などの [Location Hierarchy] の変更により、Wi-Fi の古いカウンタまたは誤ったカウンタが導入されました。



- (注) この機能強化により、[Location Hierarchy] の変更後にカウンタが無効になるため、現在の日の [Presence] チャートのカウンタがリセットされます（現在の時刻までのすべての既存の数値が削除されます）。

マップサービス

Map Service では、次の機能強化が加えられました。

[Map Service] UI からゾーンのリケーションを削除すると、同じものが [Location Hierarchy] から削除されます。

不具合

不具合では、Cisco DNA Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの不具合」と「未解決の不具合」では、このリリースの不具合を示します。

各不具合について、次の情報が提供されます。

- 識別子：各不具合には、一意の識別子 (ID) が割り当てられます。識別子は CSCxxNNNN というパターンで、*x* は任意の文字 (a ~ z)、*N* は任意の数字 (0 ~ 9) です。これらの ID は、セキュリティアドバイザリ、フィールド通知、その他のシスコのサポートドキュメントなど、シスコのマニュアルでよく使用されます。Technical Assistance Center (TAC) エンジニアまたはその他のシスコのスタッフからも、特定の不具合の ID が提供されます。
- 説明：不具合が発生したときに観察された内容の説明。

ここでは、次の内容について説明します。

シスコバグ検索ツール

[シスコバグ検索ツール \(BST\)](#) は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理するシスコバグ追跡システムへのゲートウェイです。BST は、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

未解決の不具合

Cisco Spaces のこのリリースでは未解決の不具合はありません。

解決済みの不具合

Cisco Spaces のこのリリースで解決された不具合はありません。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。